

日中友好新聞

府連通信

2021年12月号
 日本中国友好協会
 大阪府連合会
 〒530-0013
 大阪市北区
 芝田2-3-19
 東洋ビル本館207
 TEL06-6372-8131
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座
 00970-5-8978
 E-mail: info
 @jcfaosaka.org
 ホームページ
 http://
 jcfaosaka.org/

第10回中国百科検定試験 楽しい学びで交流の輪を広げよう

11月27日の第10回中国百科検定試験が行われ、社会福祉会館 きたことを紹介。
 大阪会場では大幅遅刻1名があったものの、27名全員が各級毎に受験しました。
 受付、警備、試験監督は計7名が担当。検温、消毒、マスク着用、210名定員の席をゆったり使って、試験は無事実施されました。

試験終了後の懇談会には20人参加、全級から感想や要望が活発に述べられました。連続受験で1級に挑戦したスオナ奏者・高校生李拓君は百科ポスターを学校側に掲示する許可を求め、



「第8回、第9回好成绩で「ペア中国招待」となった経験談を聞いた初級受験者からは「そのような特典はもっと大きく宣伝すべき」と提言も。今後、受験経験者、受験希望者の交流会を試み、対策講座も盛り上げながら第11回、第12回試験を迎えることを確認して解散しました。 山本恒人



大阪中国総領事と府連3役が懇談
 11月9日大阪中国領事館の薛劍総領事と府連3役との懇談がありました。日中間をめぐる情勢や、来年50周年を迎える記念イベントについて親しく懇談しました。日本国民の間での中国に対する感情が冷め切っている現状を憂慮する総領事は、総領事館としてのみならず、ご自分でも熱心に情報発信にお努めで「大阪府連の皆さんもぜひ総領事館のホームページを開いてみてください」とのご挨拶をいただきました。

中国残留邦人等への理解を深める集い

大阪帰国者センターで開く

11月12日、大阪中国帰国者センターで「中国残留邦人等への理解を深める集い」が開かれました。地域の方と帰国者交流できる研修として参加される中、理事長の講演に耳を傾けました。敗戦当時13歳という区切りで残留孤児、残留婦人と区別され、女性だけではなく男性のいることから、中国残留邦人と言われています。続いて大阪中国帰国者センター

中国残留邦人等への理解を深める集い

尼崎で胡桃沢伸さんの講演と上映

11月20日(土) 尼崎市立中央生涯学習プラザの大ホールには140人が詰めかけた。尼崎市とコスモスの会尼崎日本語教室の会が主として取り組み、今回の「中国残留邦人等への理解を深める集い」が第7回と継続して行われていることにビックリ、この様な集いを初めて知りました。



3部で構成され、第一部は信越放送製作の「ドキュメンタリー」の上映、第二部では精神科医・劇作家の胡桃沢伸さんの「河野村開拓団と祖父と私」と題しての講演、第三部は対談交流です。ロビー

国会請願は4月に

「中国残留孤児・婦人2世の生活支援等を求める請願署名」は、1世と同様2世にも新支援法を適用し、老後の生活保障を求めるものです。

大阪府連は2015年から参加させていただいています。去年はコロナ禍で開催されませんでした。今年も残念ながら、恒例の食文化の交流や広場ダンスがありませんでした。おいしい本物の中国料理や帰国者のみなさんのこぼれるような笑顔にふれることができませんでした。その場で長山事務局長(府連理事)より「中国残留孤児・婦人」2世の生活支援等を求める請願署名」を預かりました。 常任理事 石井勉

女性部 少彦名神社(神農さん)

製薬資料館を見学

年に1度の「神農祭」にあたる11月22日(月)。朝から雨の悪天候にもめげず14名(男性3名)が参加しました。神社には日本の薬の神様、少彦名命と中国の三皇五帝の一人「炎帝神農」が祀られています。入り口には疫病除けの金の虎の像も見えます。来年は寅年。参加者数人が「トラ年」生まれ。親近感を感じたのは私だけでしょうか? 境内では御祈禱の巫女さんの舞を鑑賞し、コロナの終息を願ってお参りしました。 参拝者で混雑するようないはなかつたですが、ゆっくり掲示物を見ることも出来ず、追い立てられるように神社を後にし、提灯や七夕飾りを思わせる門の下でマスク姿の美男美女で記念写真。



旧大阪証券取引所地下の中華料理店「上海食苑」で昼食休憩、元気になった所で「田辺三菱製薬史料館」見学。ガイドさんが付いて、丁寧にお話して下さいました。コロナに対応する新薬研究頑張っている様子、お話し、おいしい中華もいただき、結構歩いて充実した時間を過ごしました。 西支部 山本範枝

久しぶりの堺市国際課とのこん談

コロナ禍で延期になっていた中122のうち中国籍が130名、ベトナム籍80名などのしづりに行なわれました。

この懇談は市長宛に提出している「要望書」に基づいて、堺市と懇談し、相互の理解を深めるために行なわれていました。今回は藤本さち子市会議員にご協力いただきました。トも必要、高齢化している堺市国際課からは課長と係長が対応し、支部からは浅田、石井、上村、大町、藤田が参加しました。



今回新たに「堺市に住む外国籍の子どもたちの実態は、どうなっていますか。幼・小・中の各学校学年別の児童数や日本語指導の実際、そして課題などをお教えください」の項目を要望しました。

国際課から回答があり、今後とも日常的に情報・意見交換し合います。日本語指導を受けている児童は375名(幼4、小249、た。堺支部 藤田大輔

堺市国際課とのこん談に参加して

中国との交流を熱く語る

11月18日、堺支部が堺市に要望書を提出し、懇談する場に同席しました。協会から、堺市にある中国ゆかりの史跡や歴史的なつながりをいかした中国との都市との交流の推進を熱く語られ、その熱意が伝わってきました。



大仙公園甘泉殿

堺の中で日中友好をすすめることについて、国境を越えて都市と都市が友好関係を結ぶことや、他文化交流、堺に住む外国人にルーツを持つ人との共生や交流など、多面的でいろんな要素があると思

11月18日「中国『残留孤児・日本人』帰国者2世の生活支援」の学習会を大阪府連の平松悦雄副理事長を講師に迎え、開催し9人が参加しました。平松講師は、自ら中国を訪ねて撮った写真と説明文のパンコン画面をテレビに写して講義しました。講義は、日清、日露の戦争から話をすすめ90年前の柳条湖事件から満州事変へと日本の侵略戦争と傀儡国家「満州国」の設立、満蒙開拓団の入植へと歴史をたどりながらわかりやすく話が進められました。

中国帰国者2世支援の

城北支部学習会を開催

11月18日「中国『残留孤児・日本人』帰国者2世の生活支援」の学習会を大阪府連の平松悦雄副理事長を講師に迎え、開催し9人が参加しました。



平松講師は、自ら中国を訪ねて撮った写真と説明文のパンコン画面をテレビに写して講義しました。講義は、日清、日露の戦争から話をすすめ90年前の柳条湖事件から満州事変へと日本の侵略戦争と傀儡国家「満州国」の設立、満蒙開拓団の入植へと歴史をたどりながらわかりやすく話が進められました。

国策により入植した満蒙開拓団の人たちは、1945年8月9日ソ連軍が参戦、男性は徴兵、残された婦女子が決死の逃避行を強行し、その途上で中国に残された人たちが中国残留孤児となりました。40歳、50歳を過ぎてやっと祖国日本へ帰国したものの、

11月18日、堺支部が堺市に要望書を提出し、懇談する場に同席しました。協会から、堺市にある中国ゆかりの史跡や歴史的なつながりをいかした中国との都市との交流の推進を熱く語られ、その熱意が伝わってきました。

中河内支部「伊藤千代子の生涯」上映運動

映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」制作上映運動に5名の支部役員が呼びかけ人になって募金運動に取り組んでいます。

来年6月の公開に向けて地域での上映が可能となる映画上映債権(ひと口10万円)を取得し、2口目をめざしていきます。募金1口千円、2口以上購入者には無料で上映会に参加できます。

千支きりえ講習会

西支部は12月5日午後、府連教室で来年の千支「とら」をテーマに、近藤好幸さんを講師に15名が参加してきりえ講習会を開きました。



1月9日(日)9時から 国労会館3階 (JR天満駅から徒歩3分) 主催は、日中友好協会 大阪府連合会です。 (マスク着用を忘れずに)

中国映画「二ころの湯」鑑賞会開く

城北支部は11月20日「心の湯」観賞会を開催、7人が参加しました。映画のストーリーは、中国の庶民がよく利用する北京の下町で「銭湯」を経営する父親と知的障がいの子との日常に、深圳から一時帰郷した長男が加わります。

映画のストーリーは、中国の庶民がよく利用する北京の下町で「銭湯」を経営する父親と知的障がいの子との日常に、深圳から一時帰郷した長男が加わります。銭湯を利用する人たちの風